

Mio Moriyama 森山 美桜

Ryotaro Sato 佐藤 瞭太郎

Yoshihiko Yamazaki 山崎 愛彦

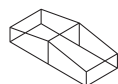
&blue、小石川 彩葉、小林 知世、葛西 由香、佐藤 祐治
and 葵あゆみ、堀江 理人、高橋 一矢、野澤 尚也
and 松本ナオヤ、くらたてさえ、マシユマ口美

Ku-kan ARTIST'S FES

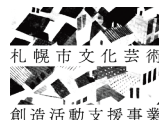
12.6 Sat - 8 Mon Entrance fee: ¥500
12.13 Sat - 15 Mon 13:00-19:00

@空間 Ku-Kan

北海道札幌市中央区大通東8丁目1-62
スクランブルガレージ2F



空間
ku-kan



主催：空間（川上大雅、大橋鉄郎） 協力：田口虹太 助成：Sapporo Culture Knot Week（令和7年度札幌市文化芸術創造活動支援事業）

Ku-kan ARTIST'S FES

12月6日から12月15日にかけて、「Ku-kan ARTIST'S FES」を開催します。本企画は、「空間」を会場としたアーティスト主体のアートフェア・物販イベントです。「空間」の会場を生かしたインスタレーション作品の展示を行う ZONE A とアーティストによる作品の展示販売を行う ZONE B を設けます。

日時 12月6日(土) - 8日(月) 土・日・月 OPEN
12月13日(土) - 15日(月) 13:00 - 19:00

入場料 ¥500 ※作品や商品を500円以上購入された方は無料

場所 空間 Ku-kan
北海道札幌市中央区大通東8丁目1-62 ス克蘭ブルガレージ 2F



バスセンター駅 10 番出口 徒歩 5 分
駐車場はありません。公共の交通機関もしくは、
近隣のコインパーキング等をご利用ください。



空間
WEBSITE



空間
Instagram

ZONE A

ZONE A では札幌にゆかりのある 3 名のアーティストによる作品を展示します。

森山美桜は札幌大谷大学芸術学部美術学科を卒業後、現在は札幌市内にある共同スタジオ「0 地点」に所属し活動しています。絵画や映像、パフォーマンスを通して高齢化社会とそこで起こるセルフネグレクトを主題に作品を制作しています。近年では、親子関係や友人関係におけるコミュニケーションに取り組み、孤独化するプロセスを可視化する作品を展開しています。

佐藤瞭太郎は北海道出身のアーティストです。Unity や Unreal Engine などのゲームエンジンを利用し、配布されているアセットを組み合わせで写真や映像作品を制作しています。2020 年の新型コロナウイルス感染症の蔓延により、孤独に在宅せざるを得ないコロナ禍をきっかけに現在の制作手法を始め、映像作品「Outlet」ではさまざまなアバターがゲームのような空間で生活している様子が描き出されます。

山崎愛彦は札幌出身で現在は京都市立芸術大学博士課程に在籍しています。自身の SNS の画像や過去作品、そして PC をトラックパッドで操作するマウスカーソルの軌跡をサンプリングして絵画を制作しています。個人の写真などの記録が SNS に保存・共有される現代の情報のあり方と、そこに自分の記録を残そうとする人の営みを、SNS を利用している作家自身をサンプルとしながら可視化しています。

ZONE B

ZONE B では主に北海道・札幌を中心に活動するアーティスト 11 組による作品の展示販売を行います。これまでインスタレーションを中心に企画してきた「空間」にとって、フェアという形で作家を紹介するのは新たな試みとなります。作家から直接作品を購入できるこの機会にぜひお越しいただけますと幸いです。

ARTISTS

&blue 小石川 彩菜 小林 知世 葛西 由香 佐藤 祐治
爽あゆみ 堀江 理人 高橋 一矢 野澤 尚也 マシュマロ美
松本ナオヤ_くらたてさえ

ARTISTS



森山 美桜
Mio Moriyama

《私の性格は母に似ている》2024



2003 年北海道旭川市生まれ。2025 年札幌大谷大学芸術学部美術学科油彩専攻卒業。現在、アトスペース 0 地点に所属。
親子関係を通して高齢者問題を見つめ、私たちの社会に深く根差す課題をテーマに作品を制作している。主な展覧会に「北の美大展 (仮)」(本郷新記念札幌彫刻美術館、2025 年)、「みまのめ Vol.11」(北海道立三好太郎美術館、2025 年) など。



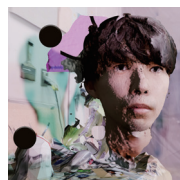
佐藤 瞭太郎
Ryotaro Sato

撮影・田山達之
写真提供・森美術館

《Dummy Life #38》2025

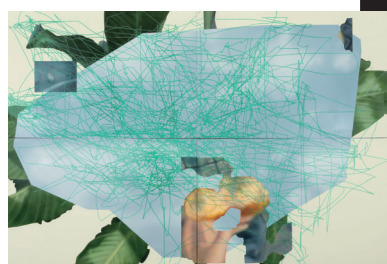


アーティスト。1999 年北海道生まれ。神奈川県在住。
資産として流通するデータを収集し、写真、映像、ゲームなどのイメージを参照しつつ編集することで今日のインターネットを描写する作品を制作している。近年は、現代のイメージメイキングにおけるデータ、ソフトウェア、プラットフォームなどに着目し、想像力の生産関係をテーマに作品を制作する。
主な展示に、「マシン・ラブ:ビデオゲーム、AI と現代アート」(森美術館、2025 年)、「変形する無機物」(トーキョーアーツアンドスペース本郷、2023 年)、「多層世界とリアリティのよりどころ」(NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]、2022 年) など。



山崎 愛彦
Yoshihiko Yamazaki

《daaabe (ドゥアアベ)》2025



1994 年北海道札幌市生まれ。2016 年、札幌大谷大学芸術学部卒業。
2020 年、北海道教育大学大学院教育学研究科修了。現在、京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程在籍中。
SNS に共有した写真をソフトウェアで分解・再構築し、複数の時間や場所を組み込んだコラージュを下図に絵画を制作する。作品はさらに画中画として引用され、入れ子状に蓄積されていく。作られたイメージの重なりは、日常的な断片を媒介しつつ、空虚さを含みながらも「保存」や「流通」といった現代の視覚文化を可視化する試みとなっている。主な展覧会に「熊倉涼子・山崎愛彦 二人展 Links, Embed Images」(Gallery & Bakery Tokyo 8 分、東京、2025 年)、「開館 50 周年記念 mima 明日へのアーティストたちとともに」(北海道立三好太郎美術館、札幌、2016 年) など。